

## ■8月9日

## 新千歳空港、深夜・早朝枠拡大に向け、国際線チャーター便実証実験

道は7日、新千歳空港の24時間運用で1日6回に限られている深夜・早朝(午後10時～午前7時)発着枠の拡大に向け、8月に運休する国内貨物便の枠を使った国際旅客チャーター便の実証運航を行うことを発表した。深夜・早朝枠は現在、国内旅客4便と国内貨物2便の計6便が使用しており、同様の実証運航は、昨年8月から始め、3回目となる。

運航するのは大韓航空の国際旅客チャーター便で、いずれも午後10時15分新千歳発、務安国際空港(韓国)行き。韓国ツアー客の帰国便として利用する。

(北海道新聞)8/8

<http://www.hokkaido-np.co.jp/news/economic/484446.html> (-> <http://www.hokkaido-np.co.jp/news/economic/484446.html>)

## アジアナ航空、仙台—仁川線減便、週4便へ、旅客需要見込めず

アジアナ航空は7日、週7往復で運航する仙台—ソウル線を9月17日から週4往復に減便すると発表した。同社仙台支店は「旅客の需要が十分に見込めなくなった」と説明している。

同社は2011年9月、東日本大震災で被災した仙台空港の全面復旧に合わせ、週3往復で定期便を再開、昨年5月には週7往復へ復便した。

一方、搭乗率は当初、70～80%台で推移していたが、昨年10月以降は50%台に落ち込み、ことし4～5月は40%台の低水準が続いていた。

(河北新報)8/8

<http://www.kahoku.co.jp/news/2013/08/20130808t13025.htm> (-> <http://www.kahoku.co.jp/news/2013/08/20130808t13025.htm>)

## 住友精密工業、ANAコンポーネントテクニクス買収、民間航空会社からの整備受注を目指す

住友精密工業は8日、ANAホールディングス子会社のANAコンポーネントテクニクスが手掛ける航空機脚部の整備、修理事業を買収し、全日本空輸と業務提携すると発表した。住友精密は航空機の脚部の製造を手がけており、整備も拡大することで収益基盤を強固にする。今後は、全日本空輸が運航するほぼすべての航空機の脚部について整備を受託する方針だ。

ANAコンポーネントテクニクスが長崎北工場で実施している脚部の整備事業をANAホールディングスから来年4月に買い取り、新会社を設立。2020年度に15億円の売上高を目標とする。

住友精密の整備事業はこれまで自社の脚部を使っている航空機だけだった。買収後は、ボーイング777など住友精密以外の脚部を使っている航空機についても整備できるようになる。

今回の買収をきっかけに、格安航空会社(LCC)を含め、日本やアジアの民間航空各社から整備の受注獲得を目指す。

(産経ニュース)8/8

<http://sankei.jp.msn.com/economy/news/130808/biz13080816570019-n1.htm> (-> <http://sankei.jp.msn.com/economy/news/130808/biz13080816570019-n1.htm>)

(日経)8/8

<http://www.nikkei.com/article/DGXNZO58247230Y3A800C1TJ1000/> (-> <http://www.nikkei.com/article/DGXNZO58247230Y3A800C1TJ1000/>)

## NAA、7時台までに出発する旅客対象、駐車場料金1日無料キャンペーン

成田国際空港会社は8日、10日～来年2月末に成田空港早朝出発便(午前6～7時台出発)を利用した旅客を対象に、駐車場料金を24時間分(普通車で2000円)無料にすると発表した。利用が急増しているLCCの旅客を想定したキャンペーンで、LCCの出発カウンターにも近い第2旅客ターミナル前の「P2駐車場」(1434台)で実施する。

割引を受けるには、出発当日の午前0時以降に入庫し、出庫時に有人精算口で出発便搭乗券の半券などを示すことが必要。予約で事前に支払いを済ませている場合は後日、銀行振り込みなどで精算するが、駐車場管理事務所で予約券も提示する必要がある。

(時事ドットコム)8/8

[http://www.jiji.com/jc/c?g=ind\\_30&k=2013080800911](http://www.jiji.com/jc/c?g=ind_30&k=2013080800911) (-> [http://www.jiji.com/jc/c?g=ind\\_30&k=2013080800911](http://www.jiji.com/jc/c?g=ind_30&k=2013080800911))

(NAAプレスリリース)8/8

[http://www.naa.jp/jp/press/pdf/2013.08.08\\_1.pdf](http://www.naa.jp/jp/press/pdf/2013.08.08_1.pdf) (-> [http://www.naa.jp/jp/press/pdf/2013.08.08\\_1.pdf](http://www.naa.jp/jp/press/pdf/2013.08.08_1.pdf))

#### ジェットスター・ジャパン(LCC)、来夏、国際線進出

ジェットスター・ジャパンは8日、来年夏にも同社初の国際線を就航させる方針を明らかにした。当初は今年中の国際線就航を予定していたが、整備体制の不備で国土交通省から昨年嚴重注意を受けたため延期していた。

成田空港や関西国際空港から中国や韓国などに向かう近距離路線とし、主に観光需要の取り込みを図る。

(WSJ)8/9

<http://jp.wsj.com/article/JJ11291735003239804646519648401061592943821.html> (->

<http://jp.wsj.com/article/JJ11291735003239804646519648401061592943821.html>)

#### 国交省、鳥取空港、2015年からリモート化を計画

国交省大阪航空局が2015年4月から、鳥取空港の運航支援業務を大阪空港からの遠隔操作(リモート化)するよう変更することが分かった。また、同航空局は、同空港内鳥取出張所庁舎の耐震化工事に合わせて、管制塔を撤去する意向を県に伝えており、平井知事は8日に開かれた定例記者会見で「空港の増便を求めると、利便性と安全性の確保の支障になる」と懸念を表明した。読売新聞が報じた。

県や同航空局によると、同空港は現在、航空管制運航情報官6人が交代で、離着陸に必要な気象情報や滑走路の状態などを航空機に伝える業務を行っている。リモート化されると、同空港を管理する県や鳥取地方気象台からの連絡を受けた大阪空港の運航情報官が、航空機に情報提供を行うという。

国交省は合理化の一環で、比較的交通量の少ない空港についてリモート化を進めており、4月現在でリモート化されているのは、鳥根県の石見、隠岐両空港、兵庫県の但馬空港など計31空港。今回の合理化で、庄内空港も同時期にリモート化される予定という。

(読売新聞)8/9

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/tottori/news/20130808-OYT8T01575.htm> (-> <http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/tottori/news/20130808-OYT8T01575.htm>)

(毎日新聞)7/9

<http://mainichi.jp/area/yamagata/news/20130709ddlk06010004000c.html> (->

<http://mainichi.jp/area/yamagata/news/20130709ddlk06010004000c.html>)

#### HAC、7月旅客輸送実績、三沢線L/F75.0%と好調

北海道エアシステム(HAC)はこのほど、2013年6月(単月速報値)の旅客輸送実績を発表した。

|       | 旅客数     | 前年比    | L/F   |
|-------|---------|--------|-------|
| 丘珠—釧路 | 4,194 人 | 129.6% | 55.5% |
| 丘珠—函館 | 8,442 人 | 104.5% | 67.2% |
| 丘珠—奥尻 | 960 人   | 116.0% | 46.0% |
| 丘珠—利尻 | 1,658 人 | 106.9% | 74.3% |

|       |         |       |       |
|-------|---------|-------|-------|
| 丘珠—三沢 | 1,781人  | —     | 75.0% |
| 総計    | 12,903人 | 96.2% | 54.1% |

(日刊航空)8/9

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)

ANAHD、伊東社長、羽田昼間発着増便、成田空港既存路線、コードシェア便へシフトの可能性も示唆

ANAホールディングスの伊東信一郎社長は8月8日、本社で行った記者会見で、来年3月末からの羽田空港国際線増枠に伴い羽田昼間発着欧米等長距離路線を就航させた場合、既存の成田発着路線については提携関係にある海外航空会社とのコードシェア便に変更して維持する可能性があることを示唆した。

日刊航空によると、「羽田空港の国際線発着枠を多く配分されたとしても、成田空港の路線を維持する“成田縛り”ルールがあるのでは、収益性が上がらないのではないかと」との問いに対し、伊東社長は、「地元との関係もあって、難しい問題だと理解している。航空事業者にとって、成田空港に縛られるのは悩ましい。ただ、アライアンスのパートナーがある場合は、コードシェア便を成田空港に残せば良いということもあり、その意味では限定的な影響になると見ている。路線によっては羽田と成田の双方から飛ばすことで需要喚起ができるかもしれないし、機材を使い分けることで需給調整ができるのかなど、いろいろなことをにらみつつ、自由に飛べるようにしてほしい、とやっていくことになる」と述べた。

(日刊航空)8/9

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)

エミレーツ航空、A380型機、運航5周年、利用客1,800万人

エミレーツ航空は6日、エアバスA380型機の運航5周年で利用客が1,800万人に達したと発表した。同社は、2008年8月1日よりドバイ—ニューヨーク間の定期便にA380型機を導入したのを皮切りに、現在では欧州やアジア、北米の全21都市に就航。特別便や到着地変更を含めると5年間で37空港に離着陸したという。

同社は、A380機型の世界最大のオペレーターであり、現在35機を保有、さらに55機を発注している。

(日刊航空)8/8

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)

(トラベルビジョン)8/8

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=58531> (-> <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=58531>)

ベトナム航空、タンソンニャット空港、大型格納庫竣工、大型機の保守点検可能に

(vietjoによると)

ベトナム航空は3日、ホーチミン市タンソンニャット空港にあらゆる種類の大型航空機に対応出来る格納庫を竣工した。ダウトゥ紙(電子版)が報じた。

これにより、ハノイ市ノイバイ空港とホーチミン市タンソンニャット空港に設置されている格納庫は計5か所となった。新しい格納庫は1万3800平方メートルの敷地に建設され、高さ29.5メートルの航空機に対応しており、5か所の格納庫の中で2番目の規模となっている。

この格納庫の使用開始により、ボーイングやエアバスの大型機材の保守点検・修理作業が可能となり、これまで海外に委託していたメンテナンスを国内で行えるようになるため、コストの削減に繋がると期待されている。

(vietjo)8/9

<http://www.viet-jo.com/news/economy/130807125653.html> (-> <http://www.viet-jo.com/news/economy/130807125653.html>)

Scoot(LCC)、世界最大手ホテル予約サイト agoda.com と業務提携

米国Priceline Group のグループ企業である世界大手のホテル予約サイト agoda.com は8日、Scootと業務提携を発表した。

この業務提携により、Scootカスタマーは<http://www.flyscoot.com/hotels/> (-> <http://www.flyscoot.com/hotels/>) を通じてAgoda.comが取り扱う世界中のホテルを予約できるようになった。

なお、agoda.comは、今年の5月には 韓国のLCCチェジュ航空との業務提携も発表している。

(Scoot プレスリリース) 8/8

<http://pressrelease-zero.jp/archives/37790> (-> <http://pressrelease-zero.jp/archives/37790>)

<http://www.value-press.com/pressrelease/95948> (-> <http://www.value-press.com/pressrelease/95948>)